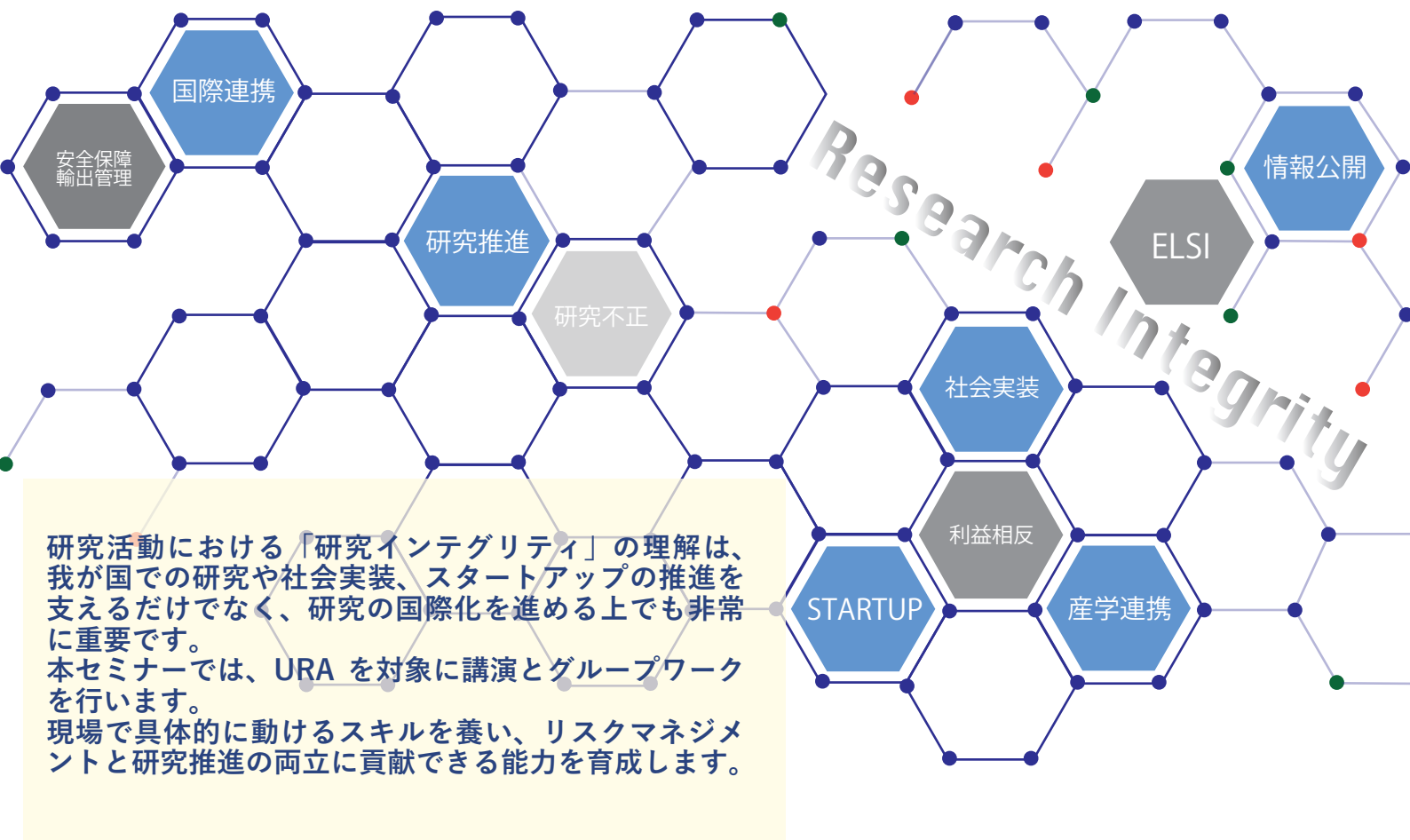


# 研究推進の現場で生きる 研究インテグリティ・スキル



研究活動における「研究インテグリティ」の理解は、我が国での研究や社会実装、スタートアップの推進を支えるだけでなく、研究の国際化を進める上でも非常に重要です。本セミナーでは、URA を対象に講演とグループワークを行います。現場で具体的に動けるスキルを養い、リスクマネジメントと研究推進の両立に貢献できる能力を育成します。

**日時：**2026 年  
3 月 18 日（水）  
13:00～17:30  
情報交換会 18:30～20:30

**対象：**研究インテグリティの基礎を学び、実務に活かしたい／研究者からの相談に、より自信を持って答えたいURA・研究支援者

**参加費：**RA協議会会員 5,000円  
RA協議会非会員 15,000円

**場所：**名古屋大学 東山キャンパス  
学術研究・産学官連携推進本部  
NIC会議室  
<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/headquarters/industry/nic/conference/>

**募集定員：**35名（先着順）

## プログラム（予定）：

第一部 13:00～14:40 研究インテグリティの全体像、最新動向、URA として留意すべき点

第二部 14:50～17:30 ケーススタディで学ぶ研究インテグリティ実践（グループワーク）

セミナー詳細、お申し込み方法は裏面をご覧ください。

### 【講師紹介】



狩野 幹人 KANOU, Mikihiro

三重大学 学長補佐 (危機管理担当)、研究・社会連携統括本部 准教授、知財ガバナンス部門 部門長、研究インテグリティ部門 副部門長

2003年3月、三重大学 大学院生物資源学研究所 博士後期課程において博士(学術)。  
2004年9月、三重大学 知的財産統括室 助手。2015年4月、社会連携研究センター 准教授および大学院地域イノベーション学研究所 准教授。2021年4月、地域イノベーション推進機構 知的財産統括室 室長および産学官連携リスクマネジメント室 副室長。2023年4月、学長補佐(社会連携(リスクマネジメント・知財)担当)。2024年4月より現職。  
おもな学外活動として、一般社団法人大学技術移転協議会 理事、東京高等裁判所 専門委員(知的財産訴訟)、経済産業省 安全保障貿易自主管理促進アドバイザー、輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会 委員長など。



石川 綾子 ISHIKAWA, Ayako

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 研究支援・人材育成部門 研究インテグリティユニット輸出管理マネージャー

2008年3月、名古屋大学 大学院法学研究科修了。2012年3月より、名古屋大学リサーチアドミニストレーション室 URA 着任。2017年4月より名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 URA/ 輸出管理マネージャー。輸出管理、利益相反管理、研究セキュリティ・インテグリティ等の相談対応及び審査を実施。名古屋大学学術データ基盤ワーキンググループ委員等。  
主な学外活動として、経済産業省 安全保障貿易自主管理促進アドバイザー、APRIN 安全保障貿易管理 e ラーニング教材作成委員、輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会 委員等。

### 研究推進の現場で生きる研究インテグリティ・スキル

日時： 2026年3月18日(水) 13:00-17:30

場所： 名古屋大学 東山キャンパス

学術研究・産学官連携推進本部 NIC 会議室

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/headquarters/industry/nic/conference/>

【名古屋大学への交通アクセス】

<https://www.nagoya-u.ac.jp/contact/directions.html>

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

参加費： RA 協議会会員 5,000 円 / 人、非会員 15,000 円 / 人

内容： 第一部 研究インテグリティの全体像、最新動向、URA として留意すべき点 (講演)

第二部 ケーススタディで学ぶ研究インテグリティ実践 (グループワーク)

定員： 35名

※先着順、定員オーバーの場合メ切前に参加申し込みを打ち切ることがあります。

主催： RA 協議会スキルプログラム専門委員会

共催： 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

※セミナー後、別会場にて情報交換会を予定しております (18:30-20:30、別途要申込み、別料金)。

### 【開催概要】

研究インテグリティ (Research Integrity) とは、研究公正、研究費適正使用、安全保障輸出管理、利益相反・責務相反など、研究活動における誠実性・健全性を包括的に指す概念です。近年、国際的な研究協力が拡大する中、各国で規制が強化され、大学・研究機関には組織的な管理体制の構築が求められています。

本セミナーでは、主に研究推進に携わる URA を対象として、講演とグループワークにより、「研究インテグリティ」を、利益相反や輸出管理などが絡み合う複合的な課題として捉え、URA が現場で具体的にどう動くべきか、実践的なスキルを養います。規制対応という側面だけでなく、「インテグリティの確保こそが、健全かつ円滑な研究活動を可能にする」という視点に立ち、組織全体のリスクマネジメントと研究推進の両立に貢献できる能力を育成します。

### 【参加申し込み方法】

RA 協議会 イベントサイトよりお申し込みください。

→ <https://rman.smartcore.jp/> 申し込み締め切り：2026年2月6日(金)